

大分工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語Ⅲ B
科目基礎情報					
科目番号	R05M308		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	(教科書) 【新規】『SKYWARD Extensive English Skills in 48 Lessons』 (桐原書店) 【新規】『Vintage』 (いいずな書店)				
担当教員	徳光 伸一				
到達目標					
(1) 英語の基本的な構文やその意味・用法を習得し、基礎的な英語が表現できる。(定期試験・小テスト) (2) 2年次までに習得した推測力を十分に活用して文中の未知語の推測が容易にできるようになる(定期試験) (3) 学年末における英語の総合力を向上させることができるようになる(定期試験・TOEIC Bridge)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目(1)の評価指標	英語の基本的な構文やその意味・用法を充分習得し、基礎的な英語が自在に表現できるようになる。		英語の基本的な構文やその意味・用法をほぼ習得し、基礎的な英語が表現できるようになる。		英語の基本的な構文やその意味・用法を習得しておらず、基礎的な英語を表現できない。
評価項目(2)の評価指標	推測力に必要な英語の予備知識を十分に活用して長文中の未知語の推測が容易にできるようになる。		推測力に必要な英語の予備知識を十分に活用して長文中の未知語の推測がほぼ容易にできるようになる。		推測力に必要な英語の予備知識を十分に活用できておらず、長文中の未知語の推測が容易にできない。
評価項目(3)の評価指標	学年末における英語の総合力を十分に向上させることができる。		学年末における英語の総合力をある程度向上させることができる。		学年末における英語の総合力を向上させることができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C2)					
教育方法等					
概要	(授業の概要) 2年次からの継続で、英文法の基礎演習を展開する。授業では、文法項目別に編集された問題集を中心に各項目の定着を目指して演習を進める。授業内容を効率よく浸透させるために偶数ページに掲載の例文を授業前に予習することを推奨する。また、2年次までに習得した「推測力向上に必要な予備知識」を十分に活用することで、TOEIC Bridgeテストへの実践力を養う。				
授業の進め方・方法	(授業の進め方) 毎回の授業は予習を前提に進める。学生が予習段階で理解できなかった箇所を中心に説明を施すことで疑問点の解明を目指す。さらに、推測力の予備知識が定着しているかを授業で確認すると共に、その定着力を定期試験で確認する。また、定期的に授業内容の定着を検証する小テスト (Vintage 収録の演習問題を約130問ずつを対象に隔週で) を実施する。				
注意点	(履修上の注意) * 授業には必ず英和辞書を持参すること。 * 毎回語法、イディオムの確認を行うので毎回『Vintage』を持参すること。 * 英語重要表現の小テスト結果を評価に加えるので、欠席しなくて済むよう健康管理に気をつけながら真剣に取り組むこと。 正当な理由があって小テストを受験できなかった場合には後日再試験を実施するが、登校後3日以内に自己申告をしなければその資格をなくすので注意すること。 * 授業の前には必ず予習をして疑問点を整理しておくこと。 (自学上の注意) 必ず復習をして内容を理解すると共に、音読を繰り返して英語独特の発音や読み方(話し方)に慣れていくこと。				
評価					
(総合評価) 総合評価 = 50点 (4回の定期試験の平均点を50点満点に換算) + 30点 (TOEIC Bridgeテストスコアの換算点) + 20点 (小テストの平均点を20点満点に換算) (再試験) 再試験は総合評価が60点に満たない者に対して実施する。					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業オリエンテーション Pre-Lesson 1-5	シラバスに沿って授業の流れや学習の仕方等を説明する。	
		2週	lesson 1,2 時制 (1) (2)	英語特有の時制の用法を理解できるようになる。	
		3週	lesson 3,4 時制 (3) (4) 小テスト① 1-127	英語特有の時制の用法を理解できるようになる。	
		4週	lesson 5,6 助動詞 (1) (2)	さまざまな助動詞の表す意味と用法を理解できるようになる。	
		5週	lesson 7,8 助動詞 (3) 受動態(1) 小テスト② 128-255	能動態と受動態を比較することで文型の理解に繋がられるようになる。	
		6週	lesson 9,10 受動態 (2) (3)	特殊な英語の受動態表現と日本語の表現を比較し用法を理解できるようになる。	
		7週	lesson 11,12 不定詞 (1) (2) 小テスト③ 256-332	不定詞の各種用法とその表す意味を熟知し用法を的確に運用できるようになる。	
		8週	lesson 13,14 不定詞 (3) (4)	不定詞の各種用法とその表す意味を熟知し用法を的確に運用できるようになる。	

後期	2ndQ	9週	前期中間試験	到達目標 (1), (2), (3)
		10週	前期中間試験の解説と学習指導 lesson 15,16 動名詞と分詞(1)(2) 小テスト④ 383-509	試験でのミスの原因を検証する。 動名詞と分詞の表す意味と用法の違いを熟知できるようになる。
		11週	lesson 17, 18 動名詞と分詞 (3) (4)	動名詞と分詞の表す意味と用法の違いを熟知できるようになる。
		12週	lesson 19,20 関係詞 (1)(2) 小テスト⑤ 510-636	関係代名詞の用法を理解できるようになる。
		13週	lesson 21 関係詞 (3)	関係副詞の用法を理解できるようになる。
		14週	lesson 22,23 比較 (1)(2) 小テスト⑥ 637-763	各種比較表現の表す意味を熟知し的確に運用できるようになる。
		15週	前期末試験	到達目標 (1), (2), (3)
		16週	前期末試験の解説と学習指導 lesson 24 比較(3)	試験問題の解説を聞き、なぜ自分の解答が間違っただかが理解できるようになる。 比較表現が自在にできるようになる。
	3rdQ	1週	lesson 25,26 仮定法 (1) (2)	仮定法過去、仮定法過去完了の構文を理解し英作文で用いられるようになる。 仮定法の特長表現を理解できるようになる。
		2週	lesson 27,28 文の種類 (1) (2)	各種否定文の作り方と意味を熟知できるようにする。
		3週	lesson 29, 30 文の種類 (3) (4) 小テスト① 764-890	さまざまな疑問文の作り方を理解し的確に運用できるようになる。
		4週	lesson 31,32,33 動詞 (1)(2)(3)	自動詞と他動詞が表す意味の違いと用法に精通するようになる。
		5週	lesson 34,35 名詞 (1)(2)(3) 小テスト② 891-1017	可算名詞、不可算名詞の性質の違いと使用法を理解できるようになる。
		6週	lesson 36,37,38 代名詞 (1)(2)(3)	人称代名詞、itを含む構文の構造や用法を熟知できるようになる。
		7週	lesson 39,40 冠詞 (1)(2) 小テスト③ 1018-1144	定冠詞、不定冠詞の表す意味や用法の違いに精通するようになる。
		8週	後期開始以来の文法、語法関連の項目の復習	後期に学んだ事項の復習を通して自らの弱点克服をできるようにする。
4thQ	9週	後期中間試験	到達目標 (1), (2), (3)	
	10週	後期中間試験の解説と学習指導 lesson 41 形容詞 (1)	試験問題の解説を聞き、なぜ自分の解答が間違っただかが理解できるようになる。 形容詞の用法を理解できるようになる。	
	11週	lesson 42 形容詞 (2)(3)(4) 小テスト④ 1145-1271	数量、年齢、少数、分数などの表現に用いられる形容詞に熟知できるようになる。	
	12週	lesson 43,44 副詞 (1)(2)	さまざまな副詞の意味や用法に精通するようになる。	
	13週	lesson 45,46 接続詞 (1)(2) 小テスト⑤ 1272-1398	等位接続詞、従属接続詞の用法を理解できるようになる。	
	14週	lesson 47, 48 前置詞 (1)(2) 小テスト⑥ 1399-1525	接続詞と前置詞の意味と用法の違いを理解し的確に運用できるようになる。	
	15週	学年末試験	到達目標 (1), (2), (3)	
	16週	学年末試験の解説と学習指導	試験問題の解説を聞き、なぜ自分の解答が間違っただかが理解できるようになる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前4,前6,前8,前10,前12,前14,前16,後1,後4,後5,後7,後8,後10,後11,後12,後14,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後14,後16
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前4,前6,前8,前10,前12,前14,前16,後1,後4,後5,後7,後8,後10,後12,後14,後16

				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合

	定期試験	小テスト	TOEIC Bridge	合計
総合評価割合	50	20	30	100
基礎的能力	50	20	30	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0